

# 地方行政サービス改革の取組状況等(平成31年4月1日現在)

自治体コード	都道府県名	市区町村名	類似団体区分
122181	千葉県	勝浦市	都市 I-1

## (1)民間委託

	直営(※)	今後の対応方針【直営(※)を選択した団体のみ回答】	【参考】	
			類似団体委託率	全国(市区町村分)委託率
本庁舎の清掃			100.0%	99.5%
本庁舎の夜間警備			100.0%	98.6%
案内・受付			94.3%	91.4%
電話交換			93.8%	94.1%
公用車運転			90.0%	87.6%
し尿収集			97.8%	98.0%
一般ごみ収集			97.5%	97.3%
学校給食(調理)			66.1%	69.7%
学校給食(運搬)			93.3%	90.7%
学校用務員事務			30.3%	35.6%
水道メーター検針			100.0%	98.9%
道路維持補修・清掃等			97.4%	97.1%
ホームヘルパー派遣			98.8%	99.0%
在宅配食サービス			100.0%	99.9%
情報処理・庁内情報システム維持	○	原則、直営による事務処理体制としているが、個別業務における支援が必要となる場合においては、別途、業務支援委託契約等により、対応することとしている。	100.0%	99.6%
ホームページ作成・運営			96.3%	97.2%
調査・集計			98.0%	96.2%

※平成31年4月1日現在において、直営で専任職員を置いている団体

## (3)窓口業務

**総合窓口の設置**

設置状況	設置予定無し	→	予定時期	-
------	--------	---	------	---

**BPRの手法を用いた業務分析**

取組状況	→	業務改革効果
------	---	--------

**窓口業務の民間委託**

委託状況	委託予定無し
------	--------

【参考】

類似団体		全国(市区町村分)	
総合窓口設置率	委託率	総合窓口設置率	委託率
12.5%	22.7%	13.2%	23.6%

## (4)庶務業務の集約化

**実施状況**

実施状況	委託状況
実施予定無し	委託予定無し

**BPRの手法を用いた業務分析**

取組状況	→	業務改革効果
------	---	--------

**対象部局**

首長部局	企業局	教育委員会	その他

**対象業務**

給与	旅費	福利厚生	財務会計

【参考】

類似団体	
実施率	委託率
27.3%	2.3%
全国(市区町村分)	
28.9%	3.2%

「実施予定無し」及び「首長部局未設置団体」は「未実施の理由」を、「実施予定あり」の団体は「実施予定時期」を記述してください。  
【人口が5万人未満の団体は回答不要】

## (2)指定管理者制度等の導入

	公の施設数	制度導入施設数	導入率	前年度以降、導入が進んでいない理由	自治体職員常駐施設数	自治体職員を常駐で配置している事に対する考え方	【参考】	
							類似団体導入率	全国(市区町村分)導入率
体育館	2	0	0.0%	指定管理者制度を使うことでコスト増が見込まれるため。	0		30.7%	39.8%
競技場(野球場、テニスコート等)	1	0	0.0%	指定管理者制度を使うことでコスト増が見込まれるため。	0		42.5%	47.6%
プール	0	0			0		49.7%	50.2%
海水浴場	4	0	0.0%	指定管理者制度を使うことでコスト増が見込まれるため。	0		8.6%	13.6%
宿泊休業施設(ホテル、旅館等)	0	0			0		89.7%	86.5%
休業施設(公衆浴場、海山の家等)	0	0			0		72.6%	76.0%
キャンプ場等	0	0			0		55.8%	58.1%
産業情報提供施設	5	5	100.0%		0		81.3%	75.0%
展示場施設、見本市施設	0	0			0		100.0%	64.2%
開放型研究施設等	0	0			0		0.0%	52.0%
大規模公園	0	0			0		27.9%	42.6%
公営住宅	8	0	0.0%	指定管理者制度を使うことでコスト増が見込まれるため。	0		9.3%	14.3%
駐車場	2	0	0.0%	指定管理者制度を使うことでコスト増が見込まれるため。	0		22.6%	38.0%
大規模公園、斎場等	1	1	100.0%		0		15.2%	21.8%
図書館	1	0	0.0%	指定管理者制度を使うことでコスト増が見込まれるため。	1	質の高い市民サービス、適切な管理運営及び費用対効果等を勘案した結果、自治体職員の常駐が適当であると考えられるため。	17.8%	19.4%
博物館(美術館、科学館、歴史館、動物園等)	0	0			0		29.6%	27.8%
公民館、市民会館	0	0			0		16.5%	23.0%
文化会館	1	0	0.0%	指定管理者制度を使うことでコスト増が見込まれるため。	1	質の高い市民サービス、適切な管理運営及び費用対効果等を勘案した結果、自治体職員の常駐が適当であると考えられるため。	43.1%	51.8%
会館等、研修所等(青少年の家を含む)	0	0			0		53.4%	48.0%
特別養護老人ホーム	0	0			0		64.7%	73.5%
介護支援センター	0	0			0		60.0%	50.4%
福祉・保健センター	1	1	100.0%		0		48.7%	53.2%
児童クラブ、学童館等	1	0	0.0%	直営で運営すべき施設であるため。	1	自治体職員(保育士)及び臨時職員による運営管理のサービス提供を基本としており、指定管理者制度の対象施設として検討すべきものではないと考えられるため。	14.9%	23.0%

## (5)自治体情報システムのクラウド化

**実施済**

実施済	○
-----	---

**実施予定**

実施予定	○
------	---

**検討中**

検討中	○
-----	---

**未実施**

未実施	○
-----	---

**タイプ**

タイプ	実施時期	自治体クラウドへの移行時期
自治体クラウド		
単独クラウド		

**実施しない理由**

【参考】

類似団体	
実施率	単独クラウド
28.1%	43.8%
全国	
28.9%	39.4%

**検討状況**

総務省の提唱する「自治体クラウド」は、複数自治体で業務フローやシステム、帳票等を共通化し、クラウド事業者から提供されるデータセンター設備や、ハードウェア及びアプリケーションソフトウェア等を共同利用することで、割増効果により経費削減を図る取り組みであるが、自治体間の調整に課題が多く、県内においても進んでいない点からも、長期間の検討が必要であることが予想されるもの、将来的な目標として今後も検討していく。

## (6)公共施設等総合管理計画

**策定済**

策定済	○
-----	---

**策定予定**

策定予定	○
------	---

**策定予定時期**

策定予定時期	
--------	--

【参考】

類似団体	全国(市区町村分)
策定割合	策定割合
100.0%	99.8%

## (7)地方会計の整備

**統一的な基準による財務書類の作成状況(一般会計等財務書類)**

作成済	○
作成予定	
作成完了予定年度	

【参考】

類似団体	全国(市区町村分)
作成割合	作成割合
97.7%	94.8%

(注)統一的な基準による地方会計については、原則として平成27年度から平成29年度までの3年間で整備するよう要請されているが、当該調査における「作成済み」は、平成27年度から平成28年度までのいずれかの決算に係る財務書類を作成した団体をいう。